

President's message

RI 会長メッセージ

ロータリアンとロータリー家族の皆さん

毎年 11 月に国連で開催されるロータリーデーは、国連とロータリーの歴史的な関係を思い出させてくれる大切な記念日です。2020 年 6 月に国連憲章調印の 75 周年を迎える今年のロータリーデーは、例年以上に重みがあります。

なぜこの日を祝うのか、不思議に思われる人もいるかもしれません。ですが、1945 年に国際連合が設立されたサンフランシスコ会議で重要な役割をロータリーが担ったことを思うと、私たちにとってこの日を祝うのはごく当たり前のことです。

第二次世界大戦を通して、ロータリーは世界平和を守るためにそのような組織を設立することの重要性を説く発行物を出版。国連設立の計画について『The Rotarian』誌で何本もの記事を発表し、『From Here On!』という小冊子も発行していたのです。それらの出版物は国連設立に一役買っただけでなく、国連の理念を伝える大きな役目を果たしました。

いよいよ国連憲章の起草となると、ロータリーは国連代表の諮問役として、他の 41 団体と共にサンフランシスコ会議に招かれました。各団体が派遣する代表の人数は 3 人と制限されていたため、国際ロータリー (RI) の代表 11 人は交代で諮問役を務めました。ロータリーの公式代表には事務総長、現会長と数人の元 RI 会長、そして『The Rotarian』誌の編集長などが含まれます。さらに、アフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、南北アメリカ大陸のロータリアンが、各国代表の役や、自国代表の諮問役を務めました。

ロータリーと国連の長年にわたる深い関係は、祝い、たたえるべき価値のあるものです。この関係を記念して、ロータリーはこれから 6 月までに 5 つの特別イベントを開催します。今月 9 日にはニューヨークの国連本部でのロータリーデー。来年はチリのサンティアゴ、パリ、ローマで会長主催平和会議を開催。国際大会直前にはホノルルで最終イベントが企画されています。

今年度、国連との関係を取り上げることは、過去を振り返るだけでなく、未来への道を照らすことでもあります。重点分野におけるロータリーの活動と、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を通じた活動には、それぞれ数多くの共通点があります。SDGs は実に野心的なものですが、インスピレーションと方向性を与えてくれます。そして、長期にわたってよい変化を世界にもたらすことが実証されているロータリーの目標と似ています。これらの目標は実現可能なものですが、それもロータリーが熟知する長期的な取り組みと粘り強さが必要です。1 つの団体では、世界中の人々にきれいな水を提供することも、飢餓をなくすることも、ポリオを根絶することもできません。しかし、国連のようなパートナーと協力すれば、必ず実現できるのです。

ぜひ、5 つの国連関連イベントのいずれかにご参加ください。年度を通して、特別イベントの最新情報を皆さまに発信していくのを楽しみにしています。



MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー (RI) 会長



ニューヨークにある国連本部の前に立つマーク・マローニー RI 会長

原文 (英語) はこちらから

ロータリーの友 
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp